

片倉うさぎ山プレイパークからのお願い

片倉うさぎ山プレイパークは2001年3月に誕生しました。地域の大人が行政に働きかけ、2年間のワークショップを経て「子どもたちが自由にのびのびと遊び育つことができる遊び場作り」として活動を開始しました。

当初は地域住民がボランティアで自主運営しながら、プレイリーダー基金や寄付をいただき独自にプレイリーダーを雇用していました。

2006年に市から、YPC(横浜にプレイパークを創ろう)ネットワークを通して、プレイリーダーの雇用の支援を受けられるようになりましたが、運営資金のほとんどは、現在も皆様からの寄付でなっています。また、イベントの実施や行政や地域との橋渡しなどの役割も地域のボランティアが担っています。

今後も子ども達がいそいそと輝ける場を維持していくために、皆様のお力添えをお願いいたします。開園準備や閉園の片付け、遊具のメンテナンス、畑の手入れ、草むしり、ゴミ拾い、イベントのお手伝い、プレイパークで子どもを見守る『目』等、様々な役割があります。

お声掛けお待ちしております。

子どもたちは、自分の能力を確かめながら「やってみよう」ということを果敢にチャレンジして成長していきます。リスクへの対応を経験的に学ぶことで、やがて危険を予測して回避することができるようになります。プレイパークでは、子どもが予測できず、対処の判断が不可能な危険性(ハザード)を取り除き、遊びのリスク(自らの意志で挑戦し達成感が得られる危険)をプレイリーダーは保障し見守っています。それでも万が一の怪我に備えて、保険に加入することをお勧めします。また疑問に思うことがありましたら、直接プレイリーダーに声をかけてください。一緒に考えていきたいと思っております！！



《水遊び、全力再開!》

うさぎ山もいよいよ水遊びシーズン本格到来。ここ数年、新型コロナウイルス感染対策のため、密になりがちなプールなどを出すことは控え、幼児の水遊びや小学生のバケツ水かけ遊び、水鉄砲、ホースによるミストシャワーなどが主な遊び方でした。

今年は状況を見ながら水遊びの仕掛けを考えていく予定です。なお、水は五感を刺激する最高の素材の一つではありますが、公園の水は市の税金によってまかなわれています。水を出しっぱなしにしていたら止める、水量を少なくするなど、ご協力をお願いします。お気づきの点がありましたらスタッフまで。また、子どもたちは時間を忘れて遊びがちですので、熱中症対策(水分補給をする、木陰で休むなど)もお忘れなく。

片倉うさぎ山プレイパークでは、皆様からの暖かいご支援、ご協力をお待ちしております



プレイリーダー・世話人に直接でもOKです

年間を通して...

* サポーター

プレイパーク運営を財政的に支援していただける方
個人サポーター 3,000円(年額)
団体サポーター 5,000円(年額)
サポーターには定期的発行物と一年間の活動報告を届けます。

* プレイリーダー基金

プレイリーダーの雇用を支えるための基金です
一口2,000円 何口からでも何回でも歓迎です。

*振込先(郵便局) 口座番号 00240-7-70843

加入者名 片倉うさぎ山公園あそび場管理運営委員会

* カンパ

くぎ・ロープ・木材・ペンキなどの消耗品・工作用材木・廃材。各種商品券・図書券・ビール券なども大歓迎です。

片倉うさぎ山プレイパークは、宗教・政治及び営利目的の団体ではありません。横浜市子ども青少年局・環境創造局・神奈川土木事務所などの行政や地域の方々とともにプレイパークを創っています。



プレイパークには、駐車場がありません。近隣の有料パーキングをご利用ください。

市営地下鉄片倉町駅より横浜方面へ 徒歩10分

横浜駅西口より市営バス・相鉄バスにて

片倉町入り口バス停下車 徒歩3分



発行：横浜市神奈川区片倉うさぎ山公園あそび場管理運営委員会

HP: URL: usagiyama-pp.net

問合せ：片倉うさぎ山プレイパーク内 うさきちハウス
(水・木・土・日 10:00~17:00) 確かめてからおかけください

Tel・Fax: 045-413-2105



うさぎ山PP



YPCネットワーク